



夢実現12月

2学期終了が間近に

81日間という1年で一番長い2学期が終了します。2学期を振り返って見ると、全国的には大雨、台風、猛暑等の自然現象が猛威を振るい、亡くなれたり、被災されたりした方々も数多く、いまだにその影響が残っています。これまでの想定外が何もかも想定内になる恐ろしさは今後ますます増えていくかもしれませんね。

本校並びにPTAでは様々な行事が実施されましたが、保護者や関係各位の御協力のもと、知恵や工夫を出し合い、計画した全ての行事を初期の目的どおり無事に終了できました。心から感謝申し上げます。m(_ _)m

冬休みへ

楽しみにしている冬休み、クリスマスやお正月の年末年始を迎えます。家族団らの時間に「星峯西小のブログ」を活用してこの一年や2学期を振り返り、来年の目標や計画等を立ててみてはいかがでしょうか。か。

また、宿題はもちろんですが、手伝いや金銭の管理、ゲームの使い方等、御家庭で必ず話し合ってください。



参加者全員で ハイ ポーズ!



成人学級とおやじの会 m(_ _)m

○ 12月15日(日)午前中『成人学級とおやじの会』の皆さんが門松を作ってくださいました。

この門松は、星峯西小学校に関わる全ての皆様方に、素晴らしい新年を招いてくれることでしょう。誠にありがとうございました。

○ 同時に、『餅つき』や『しめ縄づくり』も行われ、大勢の子どもや保護者の皆さんでにぎわいました。12月の空に笑顔と歓声が響き渡っていました。

♠ 詳細はHPをご覧ください。



保護者の皆さんへの 冬休みの「宿題」

- 今年の冬休みは週休日等の関係で14日間です。クリスマスや大晦日、お

正月といった楽しいイベントも盛りだくさん。日頃、会えない親せきや知人も交流を深める場にもなります。でも、休みをただダラダラと過ごす…。

保護者の皆さんへの宿題とは：

「冬休み、子どもを「あて」にしてみたいかでしょう」ということです。

- 今の子どもたちは、「家の手伝いをしない」「我慢強さが無い」といった声をよく聞きます。でも、決して子どもたちだけが悪いのではなく、社会や家庭の環境も原因の1つだと考えます。
- 昔の子どもは「自分から進んで」家の手伝いをしていたのでしょうか。「我慢強かった」のでしょうか。少し違うと思います。昔は、子どもも家の仕事をしないと家族の生活が成り立たない状況がありました。家が裕福ではなく、子どもが欲しいものを簡単に買い与えることができない状況も多々ありました。
- このような社会や家庭環境の中で、昔の子どもたちは「家の仕事の手伝い」「欲しいものを我慢する気持ち」などが自然に育って来たのではないかと思います。でも今はどうでしょう。「ご飯まだ?」「お風呂わいてないよ!」などまるで子どもは殿様気分。

◇ 「いや」だけど「うれしかった」



昔の子どもにとっても、家の手伝いをすることは「好き」なことではありませんでした。しかし、親や祖父母等に誉められると恥ずかしながらうれしかったものです。自分も家族の一員として「認められている」という満足感だったと思います。家族から「あて」にされているということは、子ども心を「少しいやだけど頑張ろう」という気持ちにするものです。皆さんもきっと「うれしいような恥ずかしいような」気分を経験したと思います。

◇ 「あて」にするとは



- ① 家族の中で「子どもの役割（炊事、洗濯、風呂掃除等々）」を決めます。
- ② 決めたことについては、絶対的に「あて」にするのです。
- ③ 極端に言うと、「ご飯だきを決めてご飯が出来ていなかったら、家族全員その日はご飯を抜く」位のことです。茶わんが洗っていなかったら、そのままにしておくことです。親などが決して手助けをしないのです。
- ④ 上手く出来たらもちろん誉めてあげ、素直に認めてあげるのです。

- 大人でも、子どもでも家族や同僚から「あて(頼り)」にされるとうれしいものですね。
- 「認めて」育てる大切な子育ての手法です。さりげなく出来るまで待つのも大切です。

♡そんな我が家の子育ては成功か？ まだ答えがでていません。<(_ _)>



